

## 【中級Ⅱ スクリプト 들어봅시다】

### 第1課 季節と天気

こんにちは。お天気をお知らせします。今日は概ね晴れ、お昼の最高気温は20度まで上がり、春の陽気になるでしょう。しかし寒暖差が10度前後と大きく、夕方は肌寒いでしょう。昼間はPM2.5が多いため外出の時にはマスクをし、洗濯物も室内で干すなど注意が必要です。

今日の夜から雨が予想されます。帰りが遅くなる方は傘を用意した方が良さそうです。雨は明日まで続き朝の通勤時には混雑が予想されるため、いつもより少し早めに出かけるといいでしょう。

雨が上がった後は暖かい春の天気が本格的に続きそうです。南の地方からは花の便りも届いていますが、来週末頃にはソウルでもお花見ができそうです。以上お天気をお伝えしました。

### 第2課 呼び方

女性(嫁):お父さん、まだ休まれていらっしゃるなかったのですか？

男性(舅):ああ、眠れないね。ところでテホは今日も遅くなるのかい？

女性:さっき電車から降りたというので、待っているところです。

男性:そう。あ、アガヤ！こないだ結婚したサドンチョンガクはうまくやっているのかい？いや、もう結婚したからサドンチョンガクではなくてサドンと呼ばないといけないな。

女性:はい、うまくやっています。ところでお父さん、結婚すると呼び方が変わるのですか？

男性:チョンガクは結婚していない男性を指すから、結婚したらチョンガクではなくなるね。

女性:では、私の妹も結婚したらサドンチョニョじゃなくてただのサドンになりますか？

男性:そうだね。婿や嫁の家族は結婚していてもしてなくてもみんなサドンと呼んで良いのだよ。

女性:ところで先日、お義母さんが私の父にパカッサドンとおっしゃって、母にサブインとおっしゃっていましたが、こういう場合もサドンと呼ぶのでしょうか？

男性:もちろん、サドンと呼んでもいいとも。韓国の呼び方は難しいよね？今日旦那さんが遅くなったおかげでいい勉強になったね。

#### <参考>

チョンガク(사돈총각);未婚の男性、チョニョ(사돈처녀);未婚の女性

パカッサドン(바깸사돈);婿または嫁の父、サブイン(사부인);婿または嫁の母

### 第3課 日帰り旅行

男性(スヒョン):みどりさん、韓国旅行はどうでしたか？

女性(みどり):一人で行ったので退屈かなと思っていたのですが、思ったより楽しかったです。

今回は「ソウル徒歩観光」というプログラムで西村と北村に行ってきました。

男性:ソウル徒歩観光ですか？

女性:はい、ボランティアの解説を聞きながらソウルの名所を巡る観光プログラムです。外国語ができるボランティアもいるので、私は日本語を申し込みました。

男性:僕は景福宮のような宮殿だけ解説があると思っていましたが、他の所にもそういうのがあるんですね。

女性:はい、韓屋村や仁寺洞、伝統市場のようなところでも解説が聞けますよ。コースもよくできていて、費用もかからないのでとてもよかったです。

男性:では、ボランティアの人と一日中一緒に回るんですか？

女性:いいえ、2、3時間程度です。ただ、申込みの人数が3人以上であれば、徒歩観光が可能です。

男性:僕も今度やってみたいのですが、韓国人も申込み可能ですか？

女性:もちろんです、スヒョンさん。韓国人もたくさん申し込んでいるそうですよ。申し込むには3日前まで予約しなければいけないので、お忘れなく！

### 第4課 韓国の麺とお餅

男性(会社の同僚):もう昼休みの時間だ。ようこそさん、食事はしないのですか？一緒に出かけましょう。

女性(会社の同僚):はい、行きましょう。ところで何を食べましょう。最近暑いからあまり食欲がありません。

男性:食欲がないならビビンクスはどうですか？そういうときはピリ辛なものがかちょうどいいですよ。

女性:あ、ただ私辛いのは苦手なんです。

男性:では、サムゲタンを食べに行きませんか？ちょうど今日が夏の丑の日だし、自養食を食べて頑張りましょう。

女性:サムゲタンですか？最近年のせいか、お肉が脂っこくて消化もうまくできません。

男性:あ、それならコングクスが良さそうですね。

女性:コングクスですか？それはなんですか？初めて聞きます。

男性:豆をすって作ったスープの、冷たい麺です。味もさっぱりしていて、栄養価も高いので夏の珍味です。昔は庶民の自養食でした。

女性:豆で作った麺って、おいそうですね。私はそれにします。

男性:ようこそさんが冷たい自養食を召し上がるなら、僕は熱いのにしてみます。さあ、早く行きましょう。

## 第5課 美談

男性(お兄ちゃん):チス、この暑さなのに毛糸の帽子なんてどうしたの?かぶるつもり?

女性(チス):いいえ、アフリカの赤ちゃんたちを支援するために作っているのよ。

男性:アフリカ?あそこは暑い国なのになんで毛糸の帽子が必要なの?

女性:アフリカは寒暖差が大きいでしょう。だから1年中暑いにもかかわらず夜になるととても寒いそうよ。

赤ちゃんは寒さに耐える力がなくて1年も生きられない場合が多いの。

男性:じゃあ、毛糸の帽子をかぶると赤ちゃんが長く生きられるってこと?

女性:うん、毛糸の帽子をかぶると体温が上がって、体温が上がると免疫力も高まるんだって。

そうすると大人になるまで生きられる確率も高くなるし。

男性:わあ、一言でいうと毛糸の帽子の奇跡だね。君がこんなにいいことをしているとは知らなかったよ。

女性:お兄ちゃんも一回やってみる?私が作り方教えてあげる。

男性:僕は試験期間中だから今度やってみるよ。ところでチス、すごく繊細に作っているな。

何個も作るにはかなり時間かかりそう。

女性:時間がかかってもせっかく作るならかわいく作らないとね。

## 第6課 過去と未来

男性(部下):課長、今回の会食はここでどうでしょう?

女性(課長):レトロな雰囲気だね。数日間一生懸命調べていると思ったらいいところを見つけたのね。

男性:そうですね。バーベキュー専門店ですが、80年代が回想できるところです。

女性:メニューはいいわね。私はいいけど、他の人がこういう雰囲気好きかしら。

男性:僕が昨日行ってみたのですが、雰囲気もごんまりとしていいです。

最近こういうレトロなお店が若者にも人気が高いらしいです。

女性:そう?若い人はこういうのは好きじゃないと思っていたけど意外ね。私は元からこういうところが好きだけど。

男性:いやいや、僕も高級レストランは敷居が高くて、こういう店のほうがかえって気が楽です。

女性:たまには昔を振り返るのも生きていく上で必要よね。

男性:では、今回の会食はここにしましょうか。カラオケの機械も無料で、24時間営業だそうなので、2次会は他に  
行かなくても良さそうです。

女性:そう?じゃあ、今回は過去に帰ってみよう。歌も80年代の曲で準備しておいてね。

## 第7課 光と風のある家

女性(後輩):先輩はどんなお家にみたいですか?

男性(先輩):僕は庭付きの一戸建てに住みたいな。庭で犬も飼って、子供達も思いっきり走り回って遊べるようにしてあげたいね。君は?

女性:私は、すごく大きい窓が欲しいです。その窓からは向こうのマンションの代わりに星が見えると尚良いですね。

男性:じゃあ、一戸建てのほうがいいでしょう。庭に縁台をおいてその上に寝転がれば、夜空がすべて自分のもののように感じられるし。マンションではそういう空を見ようと思っても見られないからね。

女性:わあ、いいですね。ただ、私は夜遅く歩くことが多いので、近所が明るい方がいいです。お店も多くて防犯カメラもあって。

男性:女性達はそうかもね。僕は両親と一緒に暮らしているから、病院や電車が近いところがいいな。そして大きくなくても自分だけの空間が欲しいな。

女性:私は旅行がすきなので、戸建てよりマンションのほうがよさそうです。長く旅行しても安心できるでしょう?

男性:そうだね、君はあっちこっちよく旅行に行くから、マンションがぴったりだね。

## 第8課 生活の知恵

男性(記者):みなさん、こんにちは。今日は私達の生活に必要な知恵を本にまとめて出した作家のイ・キョンジンさんをお招きしました。先生、こんにちは。

女性(作家):こんにちは。お会いできてうれしいです。

男性:今回出た本を読むと、いい内容が沢山ありましたが、特に私は米のとぎ汁に関する内容が面白かったです。とぎ汁を毎日見ながらも、こんなに役立つとは気づきませんでした。

女性:私が小さい時に、母がお米のとぎ汁をいろんな用途で使っているのを見たんですね。だから、いつかそれを本にまとめてみたいと思っていました。

男性:普通とぎ汁はそのまま捨ててしまう場合が多いですよ。しかし私の妻もこの本を読んでから、とぎ汁がお肌にいいと言いながら洗顔の時に使い出しました。

女性:はい、そうです。お米のとぎ汁はお肌にもいいですが、お掃除の時にも役に立ちます。床を拭く時に使うと光沢が出ますし、白い洋服を洗ってしばらく浸けておくと色がより白くなります。

男性:そして料理の時にも使うというので驚きました。

女性:もちろんです。チゲを作る時にお水の代わりに使うと味により深みが出ますよ。

男性:今、放送をお聞きになっている主婦のみなさんにも、このような生活の知恵を是非活用していただきたいですね。今日はお話、本当にありがとうございました。

## 第9課 地球村の課題

男性: 以前、支援していると言っていた子、まだ支援していますか？

女性(セギョン): あ、エリーですか？もちろんです、もう6年目です。今年15歳になりました。

男性: 以前写真を見た時は子供だったのに、もうそんなになりましたか？

女性: はい、エリーが手紙にかわいい絵を描いて毎年送ってくれます。2年前からはハングルで簡単な挨拶も書いてくれます。

男性: 6年前は学校にも行けず、栄養失調になって大変でしたよね。

女性: そこは今も内戦と干ばつのせいで貧しい国です。しかしエリーは支援団体を通して幸い食料も支援してもらい、学校にも通っています。

男性: セギョンさんの支援がなかったら、エリーの人生は今とは違ってそうですね。

女性: 私は支援金とちょっとしたプレゼントを贈っているだけですが、あの子がしっかり育ってくれました。

男性: 僕も支援したい気持ちはありますが、始めるのが難しいですね。言い訳に過ぎませんが忙しさもありますし。

女性: 大変でも始めてみてください。心が満たされますよ。